

第1学年 道徳学習指導案

平成27年10月9日（金）第5校時

- 1 主題名 自分の心に正直に 【内容項目 1-(4)】
資料名 だれのせい？（出典 彩の国の道徳「きょうもげんきに」 埼玉県教育委員会）

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、低学年の内容項目 1-(4)「うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。」ことをねらいとしている。1-(4)は、正直で誠実に、明るい心で楽しく生活する児童を育てようとする内容項目である。主に、第3・4学年の1の(4)及び第5・6学年の1の(4)と深くかかわっている。

低学年の児童は、特に叱られたり笑われたりすることから逃れるために、うそをついたりごまかしをしたりして暗い心になることが少なくない。いけないことをしてしまったときには素直にその非を認め、あやまることができるとともに、人の失敗を責めたり笑ったりしないようにし、正直で素直に伸び伸びと生活できる態度を養いたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、明るく素直な児童が多い。しっかりと話を聞き、1つ1つのことを学んでいこうという姿勢も見られる。また、誰かが困っていると「がんばれ」「手伝ってあげる」と声をかけることもできるようになってきた。

以下、児童に行ったアンケート調査の結果である。

アンケート調査

- 1 悪いことをしてしまったとき、正直に言えなかったことはありますか。

ある 69% ない 31%

- 2 あると答えた人に聞きます。それは、どんなときですか。

- ・おうちで洗濯ばさみを壊してしまったとき。
- ・友達とケンカしてしまったことを、お母さんに言えなかったとき。
- ・忘れ物をしてしまったとき。
- ・おうちのお花を踏んでしまったとき。
- ・ケンカして、花瓶を壊したことを友達のせいにしてしまったとき。

結果を見ると、「正直に言えなかった経験がある」という児童の方が多い。学校生活の中でも、善悪については、分かってきてはいるが「怒られるのが怖い」「よい子と思われたい」という気持ちから、悪いと分かっているにもかかわらず正直に言えなかったり、人のせいにして責任を逃れようとしたりする態度が見られる。過ちを正直に認め、それを言うことができる勇気と誠実な心のすばらしさに気づき、児童が

正直に明るい気持ちで生活することができるようにしたい。

(3) 資料について

ひろくんとてっちゃんは休み時間にサッカーをしていた。その時、てっちゃんが蹴ったボールがひろくんの手にはじかれ、窓ガラスに当たり、ひびが入ってしまった。てっちゃんは、窓ガラスにひびが入ってしまったことを正直に言おうか言うまいか悩む。そのてっちゃんの心の葛藤を児童に考えさせることで、過ちを人のせいにして責任逃れをしようとする、心の弱さに共感させる。また、自分の心に正直に向き合うことで、先生に素直に謝りにいく態度が生まれたことをとらえさせたい。そして、自分を偽らずに正直であることは、気持ちがいいことに気付かせたい。

3 研究テーマとの関わり

本校の研究主題

『豊かなかかわりを通して、よりよい自分、よりよい生き方を求める児童の育成』

低学年のテーマ

「友だちとかかわりながら、自他のよさに気付くことができる道德の時間」

【視点1】児童の実態を生かした授業の工夫

- ・アンケートを行うことで、自己の日常を振り返らせ、ねらいに迫るための意識を高める。
- ・アンケートから意図的指名を行うことで、児童一人一人が資料に入り込み、ねらいに迫れるようにする。

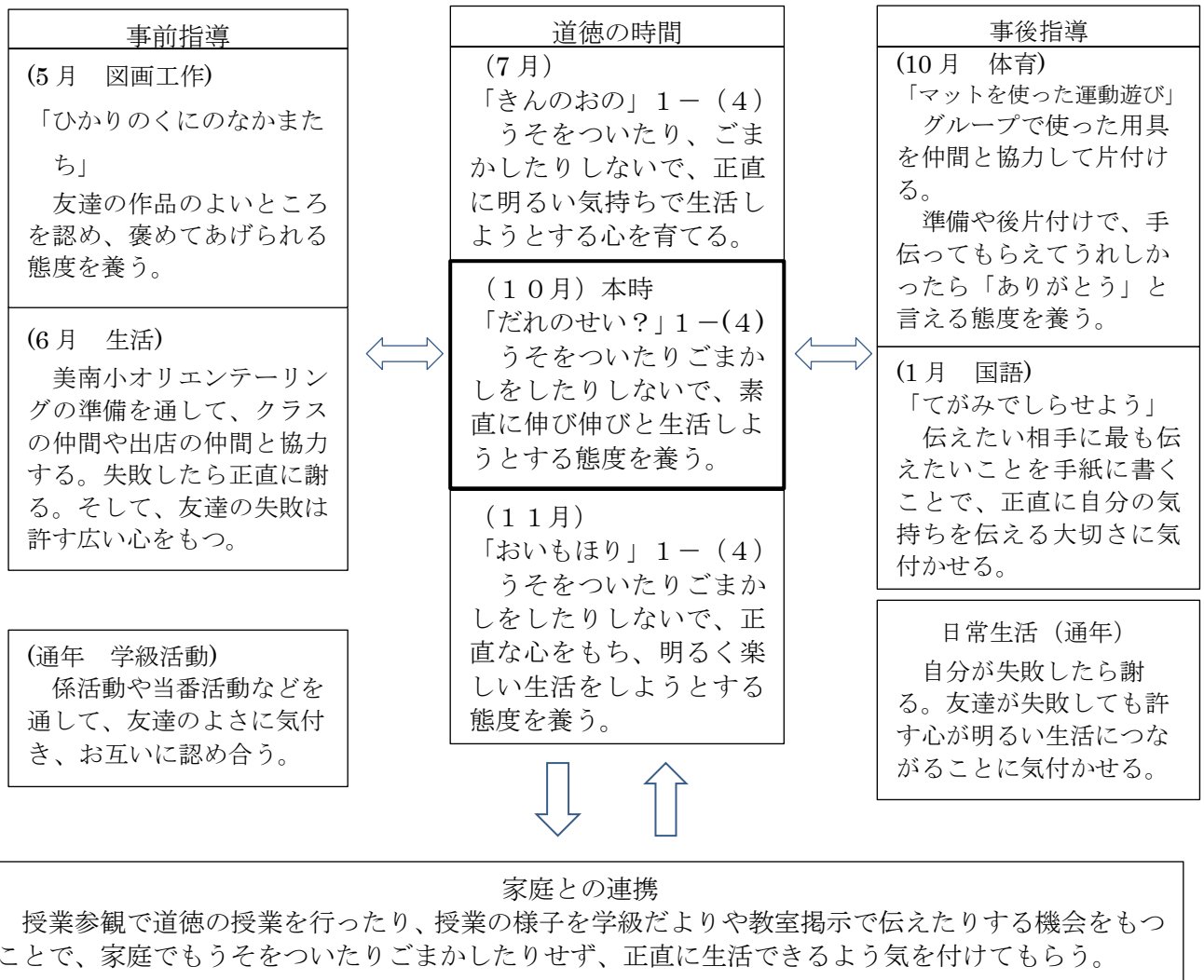
【視点2】自分の思いを素直に表現するための工夫

- ・資料提示に紙芝居を用いて、登場人物の条件や状況がしっかりとらえられるよう場面づくりをする。
- ・資料提示に使用した紙芝居を場面絵として活用することで、条件や状況をとらえやすいようにする。
- ・主発問では、「もやもやカード」を使用することで、主人公の葛藤について考えられるようにする。

【視点3】より深く自己をみつめるための工夫

- ・自分の思いを素直に表現できるように、書く活動を取り入れる。
- ・みつめる時間に、「本授業で大切だったと思ったこと」を問い、ねらいに迫れるようにする。

4 他の教育活動との関連



5 本時のねらい

うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活しようとする態度を養う。

6 学習指導過程

段階	○学習活動 ・主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点★評価	時間
導 入	<p>○アンケートの結果を見る。</p> <p>・悪いことをしてしまったとき、正直に言えなかったことがありますか。</p>	<p>・私の他にもうそをついてしまったり、ごまかしをしてしまったりしている人がたくさんいるんだ。</p> <p>・物を壊してしまった時に、自分がやったと言えなかった。</p> <p>・窓ガラスにひびが入っている、どうしたのだ</p>	<p>・児童の体験を想起させ、学習の方向付けをする。</p> <p>・アンケート結果は、一目で見て分かるように、色分けやグラフを使用して、提示しておく。</p> <p>・嘘をついたことがあるのは、自分だけではないということを理解させ、展開へ繋げる。</p> <p>・具体物を提示することで、児童の意欲をかき立てる。</p>	3分

		○ひびが入った窓ガラスの提示	ろう。		
展 開	と ら え る	○資料について知る。		<ul style="list-style-type: none"> ・児童が話に入り込めるように、紙芝居を使って資料を提示する。 ・条件、状況を理解しやすいように、場面絵や短冊を活用する。 ・主人公は、サッカーが大好きだということを知らせる。 ・主人公の気持ちを考えながら聞くようにさせる。 ・心に残ったところを児童に発表させ、それをもとに柱立てをしていく。 ・話の展開がわかりやすくなるように、絵やカードを活用する。 <p>★主人公の気持ちを考えてみたいという意欲がもてたか。</p>	10分
		<p>条件・状況 主人公 ひろくん 相方 てっちゃん</p> <p>条件・状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろくんは、サッカーが大好き。 ・休み時間にてっちゃんとサッカーをしていた。 ・てっちゃんが蹴ったボールが、ひろくんの手にはじかれ、窓ガラスに当たり、ひびが入ってしまった。 			
		○紙芝居を聞く。 ひろくんの気持ちになって聞きましょう。			
		○話し合いたいところを発表する。			
展 開	ふ か め る	○課題について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしよう。 ・怒られる、いやだな。 ・隠さないといけないな。 ・ぼくのせいじゃない、てっちゃんのせいだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分が悪いのではなく、相手が悪いのだ」と、人のせいにしてしている主人公の心の弱さに共感させる。 ・主人公の焦りやずるさに共感させる。 ・“もやもやカード”をつくり、主人公の心の葛藤をわかりやすくまとめる。 ・補助発問を行うことで、主発問を考える材料にする。 ・どちらが正しいのかではなく、主人公のマイナスの気持ちも肯定的にとらえさせ、しっかりと考えさせる。 ・心の葛藤がありながら、それでも正直に話そうと決意した、主人公の気持ちを考えさ 	23分
		<p>1 窓ガラスにひびを入れてしまったひろくんは、どんな気持ちだったのだろう。</p> <p>2 心がもやもやして、先生の顔をまっすぐ見ることができなかったひろくんはどんな気持ちかな。</p> <p>3 先生に本当のことを話してくると言った、ひろくんは、どんな気</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正直に言わないとダメだ。 ・嘘がばれたらもっと怒られてしまう。 ・先生に怒られるから隠そう。 ・ばれなきゃいいんだ。 ・やっぱり嘘はよくない。 ・正直に言いに行こう。 		

		持ちだったのかな。	<ul style="list-style-type: none"> ・怒られても仕方ない。 ・心がもやもやするのは嫌だ。 	せる。	
		4 先生に本当のことを話した後、ひろくんはどんな気持ちになったのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・話してよかった。 ・すっきりした。 ・気持ちがいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技を行うことで、より主人公の気持ちについて触れることができるようにする。 ★主人公の心の葛藤や変化をとらえることができたか。	
	みつめる	○自己を見つめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も嘘をついた後、心がもやもやしたな。 ・これからは、なるべく嘘はつかないようにしよう。 ・なにかしてしまったら正直に言おう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分を振り返って書かせる。 ★今までの自分を振り返り、うそやごまかしをせずに、素直に伸び伸びと生活しようという気持ちをもてるようになったか。	6分
終末	あたためる	○教師の話聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・教師の体験を話し、正直に生活することの大切さを伝える。 	3分

7 評価の観点

○児童側の観点

- ・主人公の気持ちを考え、自分なりの考えをもつことができたか。(発言・観察)
- ・うそやごまかしをせずに、素直に伸び伸びと生活しようとする気持ちをもつことができたか。(発言・振り返りカード)

○教師側の観点

- ・児童が資料に入り込めるような導入を行うことができたか。(発言・観察)
- ・児童の考えを深めることができるような発問や板書ができたか。(発言・観察)
- ・授業を通して、児童がどんな気づきを得られたかを適切に評価することができたか。(振り返りカード)

8 備考

(1)板書計画

だれのせい？

ひろくん
てっちゃん

ふたりはやすみじかにさっかあをしていました。
するとてっちゃんがけたたけぼうるが
ひろくんのてにはじかれ、
まどがらすにはびがはいってしまいました。

まどがらすをわってしまったとき

- ・どうしよう
- ・おこられる
- ・てっちゃんのせいだ

「ごんがもやもやして…」

- ・せんせいのはなしがあたまにはいらぬい…
- ・「へいきだよ…。へいきだよ…」

ばれなければいい

だれもみてないからだいようぶ

ぼくのせいじゃない

せんせいにほんとうのことをはなそう

- ・しょうじきにいいにいこう
- ・かくすのはよくない

せんせいにはなして

- ・はなしてよかった
- ・すっきりした
- ・こんどからはしょうじきにはなそう

(2)資料分析

スタートの条件・状況 主人公：ひろくん 相方：てっちゃん

条件・状況

- ・ひろくんは、サッカーが大好き。
- ・休み時間にてっちゃんとサッカーをしていた。
- ・てっちゃんが蹴ったボールが、ひろくんの手にはじかれ、窓ガラスに当たり、ひびが入ってしまった。

《話題につなげたい場面》

《動き、気持ちの変化、関わり合い、キーワード等》

ガラスにひびが入った場面

○休みにサッカーをしていた

ひろくん

てっちゃん

ガラスにひび！

- ・どうしよう
- ・怒られる
- ・ぼくのせいじゃない。てっちゃんのせいだ。

- ・ひろくんがとらなかったから。
- ・ひびが入っただけだから、平気だよ。

「ひろくんの心はもやもやして、先生の顔をまっすぐに見ることができませんでした。」

正直に言おう

ばれなければいい

かくしたのがばれたら

葛藤

ぼくのせいじゃない

もっと怒られる

もやもやしたまま

だれもみていなかったから

じゃいやだ

だいじょうぶ

ひびわれたガラスにテープがはってありました。

はっとして立ち止まり

先生に、本当のことを話そうと決めた場面

「てっちゃん…ぼく、やっぱり、先生に本当のことを話してくるよ。」

- ・やっぱりうそはよくない
- ・正直に言おう

ひろくんとてっちゃんは、先生のいる職員室にむかって走り出しました。

先生に本当のことを話した後

- ・話してよかった
- ・すっきりした
- ・今度からは正直に言おう